

科目名	論理国語	単位数	4単位	学年	2年	コース	特進文系	必修
教科書	探求 論理国語(桐原書店)							
副教材・参考書	国語辞典・トータルサポート新国語便覧・探求論理国語準拠予習復習ノート・大学入試国語頻出問題1200 四訂版・ちくま文学講読上級編							
授業の到達目標	実社会で必要な国語の知識や技能を身に付ける。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
授業内容 ・ 進め方	様々な分野の評論文、実用的な文章を取り上げ、読む力、書く力を養う。複数文章の読み比べや、副教材を使用しての小説読解など、表現方法についても幅広く学ぶ。プレゼンテーションやレポート作成、小テストで理解を深める。小論文は2回実施し、分析力・記述力を伸ばす。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期考査・小テスト等							
	【思考・判断・表現】 定期考査・発表(プレゼンテーション)の内容と過程・レポート・小論文等							
	【主体的に学びに向かう態度】 振り返り・相互評価・行動観察等							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =5:4:1を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	随筆「気持ちよさという罪」(村田紗耶香)【多様な観点】					
			評論「いのちは誰のものか?」(鷺田清一)【要旨の把握】					
			小説「晴れた空の下で」(江國香織)【解釈の深化】					
	5月	考査実施						
	6月	/	評論「知的創造のために」(吉見俊哉)【小論文①】					
			小説『山月記』(中島敦)【多様な観点】					
			論文「変身に伴う快樂と恐れ―「山月記」を通じて」(宮原浩二郎)【解釈の深化】					
7月	考査実施	プレゼンテーション						
(2学期)	9月	/	実用的な文章5 「全国高校生「四字熟語」総選挙」・コラム四字熟語とは何か					
			プレゼンテーション					
			評論文「ロボットは心を持つか」(黒崎政男)【論拠の検討・情報との関連】					
	10月	考査実施	評論文「そもそも心とは何か」(石黒浩)・コラム「人工知能を通して人間を考える」					
			評論文「「もどかしさ」の融合」(佐佐木幸綱)【具体例の働き・効果的な表現】					
	11月	/	評論文「「物語」としての伝統」(西江雅之)【接続表現・見解の根拠】					
			評論文「足跡」(原研哉)／評論文「創造としての本歌取り」(渡部泰明)【見解比較】					
			実用的な文章4 「観光地紹介を書く」プレゼンテーション					
12月	考査実施	「書く」ことへの挑戦―問いを生む【小論文②】						
(3学期)	1月	/	小説『こころ』(夏目漱石)【多様な観点】					
			論文「淋しい人間―「こころ」を通じて」(山崎正和)【解釈の深化】					
			レポート・プレゼンテーション					
	2月	/						
	3月	考査実施						

科目名	古典探究		単位数	3単位	学年	2年	コース	特進文系	必修
教科書	精選 古典探究(大修館書店)								
副教材・参考書	古語辞典・学習ノート・トータルサポート新国語便覧・完全マスター古典文法・書き込みながら覚える古典文法ワークノート・わかる・読める・解けるKey&Point 古文単語330・基礎から解釈へ漢文必携・漢文必携チェックノート基本編・大学入試国語頻出問題1200 四訂版								
授業の到達目標	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深め、作品を読むことを通して、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。								
授業内容・進め方	教科書を中心に授業を進める。その際、質疑応答や小テストを行い、理解度を深めていく。また、主体的な活動を通して他者との意見や考え方の違いを確認し、客観的視点を養う。								
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査・小テスト等、パフォーマンス等(発表等の態度・内容・過程、論述の成果物)								
	【思考・判断・表現】定期考査等、パフォーマンス等(発表等の態度・内容・過程、論述の成果物)								
	【主体的に学びに向かう態度】振り返り(自己評価・他己評価)、行動観察								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =5 :4 :1 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月		古文:『十訓抄』『大江山いくのの道』◎用言の復習・和歌の修辞						
	5月	考査実施	漢文: 故事成語「漱石枕流」「塞翁馬」◎訓読・書き下し文・句法						
	6月		古文:随筆『枕草子』『中納言参りたまひて』◎三大随筆・敬語入門						
	7月	考査実施							
(2学期)	9月		古文:随筆『徒然草』『家居のつきづきしく』◎三大随筆・助動詞 古文:物語『大鏡』『競べ弓』◎助詞・助動詞・敬語・時代背景・人物関係						
	10月	考査実施							
	11月		漢文:史伝『史記』『鴻門の会』(一)◎時代背景・人物関係・句法 漢文:史伝『史記』『項王の最期』(一)◎時代背景・人物関係・句法						
	12月	考査実施							
(3学期)	1月		古文:物語『源氏物語』『光源氏の誕生』◎助動詞・敬語・人物関係 漢文:『長恨歌』◎句法・内容理解						
	2月								
	3月	考査実施							

科目名	地理探究		単位数	4単位	学年	2年	コース	特進文系	選択
教科書	『地理探究』 二宮書店								
副教材・参考書	『高等地図帳』(1年次購入済)・『地理探究ワークブック』								
授業の到達目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。								
授業内容・進め方	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。								
観点別評価の方法	【知識・技能】		定期考査・小テスト等による評価						
	【思考・判断・表現】		定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価						
	【主体的に学びに向かう態度】		パフォーマンス課題・振り返り等による評価						
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境						
			①地形						
	5月	考査実施	②気候と生態系						
			③世界各地の自然と生活						
	6月	/	④日本の自然環境と防災						
⑤地球環境問題									
7月	考査実施								
(2学期)	9月	/	第2章 資源と産業						
			①農林水産業						
	10月	考査実施	②資源・エネルギー						
			③工業						
	11月	/	④第3次産業						
第3章 人・モノ・金のつながり									
12月	考査実施	①交通・通信							
(3学期)	1月	/	第4章 人口、村落・都市						
			①人口						
	2月	/	②村落・都市						
			第5章 文化と国家						
	3月	考査実施	①生活文化と言語・宗教						
②国家とその領域									

科目名	日本史探究	単位数	4単位	学年	2年	コース	特進文系	選択	
教科書	『詳説 日本史』(山川出版社)								
副教材・参考書	『詳説日本史図録』・『一問一答日本史』・『要点整理ゼミナール日本史』等								
授業の到達目標	1.日本史の学習を通して、国際社会に生きる市民として自国への理解を深め、将来に生かすことができる力を養う。2.単なる知識量だけではなく、思考力・分析力等の育成を目指し、論述力も高め、次年度の大学入試に向けた実践力を養う。								
授業内容 ・ 進め方	教科書の内容をふまえたうえで、歴史的思考力を高めながら自ら判断する機会を取り入れた講義形態やグループワーク等で実施。 適宜、副教材や視覚教材等を使用し、プリント作業・小テスト・演習・パフォーマンス課題等を行う。								
観点別評価の方法	【知識・技能】		定期考査・小テスト等による評価						
	【思考・判断・表現】		定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価						
	【主体的に学びに向かう態度】		パフォーマンス課題・振り返り等による評価						
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	第1部 原始・古代						
			第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり / 2 農耕社会の成立						
	5月	考査実施	第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 / 2 飛鳥の朝廷						
			第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道						
	6月	/	2 平城京の時代						
			3 律令国家の文化 4 律令国家の変容						
	7月	考査実施	第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治 / 2 国風文化						
			3 地方政治の展開と武士						
	(2学期)	9月	/	第Ⅱ部 中世					
				第5章 院政と武士の躍進 1 院政のはじまり / 2 院政と平氏政権					
第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立 / 2 武士の社会									
10月		考査実施	3 モンゴル襲来と幕府の衰退 / 4 鎌倉文化						
			第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 / 2 幕府の衰退と庶民の台頭						
11月		/	3 室町文化 / 4 戦国大名の登場						
			第Ⅲ部 近世						
12月		考査実施	第8章 近世の幕開け 1 織豊政権 / 2 桃山文化						
			第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 / 2 幕藩社会の構造						
(3学期)		1月	/	3 幕政の安定 / 4 経済の発展 / 5 元禄文化					
	第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 / 2 宝暦・天明期の文化								
	2月	/	3 幕府の衰退と近代への道 / 4 化政文化						
			第Ⅳ部 近代・現代						
	3月	考査実施	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱						

科目名	世界史探究	単位数	4単位	学年	2年	コース	特進文系	選択
教科書	『詳説 世界史』(山川出版社)							
副教材・参考書	『世界史・NEW・STAGE世界史詳覧』等							
授業の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。							
授業内容 ・進め方	歴史総合の内容を土台に、さらに世界史に関する知識を深める。復習や実践問題を通して、生徒自身が新たな発見をするように「学習→関連付け→更なる知識の獲得」となるよう、世界史の内容を幅広く取り扱う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、調べまとめる技能を身に付けるように							
	【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察したり、効果的に説明したり、議論したりする力を養う。							
	【主体的に学びに向かう態度】 他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =5:3:2を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	第1章 文明の成立と古代文明の特質					
	5月		考查実施	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界				
	6月	/	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開					
			第4章 西アジアと地中海周辺の世界形成					
	7月	考查実施	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成					
(2学期)	9月	/	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向					
	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開							
	10月	考查実施	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国					
	11月	/	第9章 大交易・大交流の時代					
	12月		考查実施					
(3学期)	1月	/	第10章 アジアの諸帝国の繁栄					
	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向							
	2月	/	第12章 産業革命と環大西洋革命					
	3月		考查実施					

科目名	数学Ⅱ		単位数	4単位	学年	2年	コース	特進文系	必修
教科書	数研出版 高等学校 数学Ⅱ								
副教材・参考書	4プロセス 数学Ⅱ+B								
授業の到達目標	座標平面上に図形を方程式として表現すること、また、式から図形をグラフとして表現できるようにする。様々な関数を解析し、処理するための基盤を構築する。数学と様々な学問を積極的に結び付け考える姿勢を身に着ける。文系学問に必要な数的処理能力を習得する。								
授業内容・進め方	3. 図形と方程式 4. 三角関数 5. 指数関数と対数関数 6. 微分法と積分法 上記の内容に関して、講義と演習を行う。演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。(1. 式と証明 2. 複素数と方程式 3. 図形と方程式 1節 2節 は1年次に履修済み)								
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期テスト 基本的課題								
	【思考・判断・表現】 定期テスト								
	【主体的に学びに向かう態度】 定期テスト 発展的な課題 授業・テストの振り返り 小テスト								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	第3章 図形と方程式			第1節 点と直線			
							第2節 円		
	5月	/				第3節 軌跡と領域			
	6月	/	第4章 三角関数			第1節 三角関数			
	7月	/				第2節 加法定理			
(2学期)	9月	/				第2節 加法定理			
			第5章 指数関数と対数関数			第1節 指数関数			
	10月	/				第2節 対数関数			
	11月	/	第6章 微分法と積分法			第1節 微分係数と導関数			
	12月	/				第2節 関数の値の変化			
(3学期)	1月	/				第3節 積分法			
	2月	/				第3節 積分法			
	3月	/							
						/			

科目名	数学B		単位数	2単位	学年	2年	コース	特進文系	必修
教科書	数研出版 高等学校 数学B								
副教材・参考書	4プロセス 数学 II+B								
授業の到達目標	数列の法則を発見、解釈、処理する能力や、統計的な推測を通し、処理する能力を身につける。より発展的な分野を学習し、様々な数学的な現象をも記述できるような表現力を身に着ける。数学と他の学問との関連性を積極的に考える姿勢を身に着ける。文系学問に必要な数的処理能力を習得する。								
授業内容 ・進め方	1. 数列 2. 統計的な推測 上記の内容に関して、講義と演習を行う。演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。入試問題などの総合的な演習にも取り組む。								
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期テスト 基本的課題								
	【思考・判断・表現】 定期テスト								
	【主体的に学びに向かう態度】 定期テスト 発展的な課題 授業・テストの振り返り 小テスト								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
( 1学期 )	4月	/	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列						
	5月	/	第2節 いろいろな数列						
	6月		第3節 漸化式と数学的帰納法						
7月	/	第3節 漸化式と数学的帰納法							
( 2学期 )	9月	/	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布						
	10月	/	第1節 確率分布						
	11月		第2節 統計的な推測						
12月	/	第2節 統計的な推測							
( 3学期 )	1月	/	総合演習						
	2月	/	総合演習						
3月	/								

科目名	体育(男子)	単位数	2単位	学年	2年	コース	特別進学	必修
教科書	新高等保健体育(大修館書店)							
副教材・参考書								
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。							
授業内容 ・ 進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けているか。							
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。							
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	体づくり運動					
			新体力テスト					
			陸上競技(短距離走・リレー、長距離走)					
	5月	/	器械運動(マット運動)					
6月	/	球技 ゴール型 サッカー(パス、ドリブル、シュート)						
7月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)						
(2学期)	9月	/	球技 ネット型 ソフトテニス(1対1、攻防練習、審判法、ダブルス説明)					
	10月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)					
11月	/	球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)						
12月	考査実施	球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)						
(3学期)	1月	/	球技 ゴール型 サッカー(ゲーム中心)					
	2月	/	陸上競技(長距離走)					
3月	/	球技 ネット型バレーボール(ゲーム中心)						



科目名	体育(女子)	単位数	2単位	学年	2年	コース	特別進学	必修
教科書	新高等保健体育(大修館書店)							
副教材・参考書								
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。							
授業内容 ・ 進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けているか。							
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。							
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	体づくり運動					
			新体力テスト					
			陸上競技(短距離走・リレー、長距離走)					
	5月	/	器械運動(マット運動)					
6月	/	球技 ベースボール型 ソフトボール(キャッチボール、バッティング)						
7月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)						
(2学期)	9月	/	球技 ネット型 ソフトテニス(1対1、攻防練習、審判法、ダブルス説明)					
	10月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)					
11月	/	球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)						
12月	考査実施	/	球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)					
(3学期)	1月	/	球技 ベースボール型 ソフトボール(守備・攻撃練習、ゲーム)					
	2月	/	陸上競技(長距離走)					
3月	/	球技 ネット型バレーボール(ゲーム中心)						

科目名	保健		単位数	1単位	学年	2年	コース	特別進学	必修
教科書	新高等保健体育(大修館書店)								
副教材・参考書									
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。								
授業内容・進め方	健康について単なる知識理解にとどまらず、個人の適正な意思決定や行動選択ができるように、それぞれの単元の主概念を教科書中心に学習する。 基礎基本である知識を身につけ、考えることを主体に展開する。								
観点別評価の方法	【知識・技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けているか。								
	【思考・判断・表現】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力が養われているか。								
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境作りを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	3章 生涯を通じる健康						
			1. 思春期と健康						
			2. 性意識の変化と性行動の選択						
	5月	/	3. 結婚生活と健康						
			4. 妊娠・出産と健康						
			5. 家族計画						
	6月	/	6. 加齢と健康						
			7. 高齢社会に対応した取り組み						
8. 働くことと健康									
7月	/	/							
(2学期)	9月	/	9. 労働災害の防止						
			10. 働く人の健康づくり						
			4章健康を支える環境づくり						
	10月	/	1. 大気汚染と健康						
			2. 水質汚濁・土壌汚染と健康						
			3. 健康被害を防ぐための環境対策						
	11月	/	4. 環境衛生に関わる活動						
			5. 食品の安全性と健康						
6. 食品の安全性を確保する取り組み									
12月	/	/							
(3学期)	1月	/	7. 保健制度とその活用						
			8. 医療制度とその活用						
			9. 医薬品の制度とその活用						
	2月	/	10. 様々な保健活動や対策						
			11. 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり						
	3月	/	/						
3月	/	/							

科目名	音楽 I	単位数	2単位	学年	2年	コース		特進文系		選択	
教科書	MOUSA 1(教育芸術社)										
副教材・参考書	なし										
授業の到達目標	音楽の幅広い活動を通して生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。										
授業内容 ・進め方	実技(歌唱・器楽)・音楽史鑑賞・音楽理論をバランスよく学習する。 外国の作品は原語で歌唱し、その国の歴史、文化、風習等、様々な分野とつながりをもって学習させる。										
観点別評価の方法	【知識・技能】音楽史・楽典・読譜力・発声法・楽器の奏法										
	【思考・判断・表現】知識・技能に裏付けられた豊かな表現										
	【主体的に学びに向かう態度】授業に向かう積極性・協調性・持続性										
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 3 : 3 : 4 を原則とする										
授業スケジュール											
(1学期)	4月	/	発声 校歌								
			イタリア歌曲「Caro mio ben(いとしのわがきみ)」								
			箏の基本奏法								
	5月	<small>考查不実施</small>	イタリアについて(イタリア語・文化・歴史・風土)								
			原語で歌唱								
			箏「さくらさくら」								
	6月	/	イタリア歌曲「Caro mio ben(いとしのわがきみ)」								
実技試験 歌唱「Caro mio ben」(独唱)											
実技試験 器楽・箏「さくらさくら」(独奏)											
7月	<small>考查不実施</small>	音楽史・鑑賞 ルネサンス～バロック									
(2学期)	9月	/	発声								
			日本歌曲 この道								
			ギターの基本奏法								
	10月	考查不実施	混声四部合唱「We are the World」								
			音楽理論								
			ギター「禁じられた遊び」								
	11月	/	音楽理論								
実技試験 歌唱「この道」											
実技試験 器楽・ギター「禁じられた遊び」											
12月	<small>考查不実施</small>	音楽史・鑑賞 古典派～ロマン派～現代									
(3学期)	1月	/	ハンドベル・アンサンブル「星に願いを」								
			グループ練習								
			グループ練習								
	2月	/	リハーサル								
			実技試験 ハンドベル・アンサンブル「星に願いを」(グループごと)								
			パーカッション・アンサンブル「宝島」								
	3月	<small>考查不実施</small>	音楽史・鑑賞								

科目名	美術 I		単位数	2単位	学年	2年	コース	特進文系	選択
教科書	高校生の美術1								
副教材・参考書	スケッチブック								
授業の到達目標	作品の制作および鑑賞を通じて、個人個人の感性や様々な思考、創造力を養い、様々な価値観に触れながら自己を深く掘り下げることを目標とする。								
授業内容・進め方	作品制作におけるアイデアや制作方法を探りながら、物の見方や色彩理論の解説および指導を行う。また、生徒個人の能力に応じて指導をし、満足度と完成度を高める。								
観点別評価の方法	【知識・技能】 絵画・立体・デザインにおける技法や理論および知識の習得。								
	【思考・判断・表現】 対象物を的確に捉える観察力、豊かな創造性を生み出すための視点や発想力。								
	【主体的に学びに向かう態度】 制作のみならず準備や片付けなどの積極性や他者を尊重する姿勢。								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 3 : 3 : 4 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	ガイダンス						
			レタリング(スケッチブックに各自の氏名を明朝体でレタリング)						
			デッサン(球体を陰影で描く)						
	5月	<small>審査不実施</small>	1、鉛筆でのグラデーション表現および陰影表現を用いてのデッサン						
			色彩理論および表現(三原色、三属性、色相環および配色について学ぶ)						
	6月	/	1、三原色カラーを用いての色相環制作						
			水彩表現(透明水彩絵の具を用いての写生)						
	7月	<small>審査不実施</small>	1、下描き						
2、透明水彩絵の具を使用したの彩色①									
7月	<small>審査不実施</small>	3、透明水彩絵の具を使用したの彩色②							
		4、振り返り							
(2学期)	9月	/	絵画制作「静物油彩」						
			(油絵具による静物画の制作。絵具の特性や技法、絵画の歴史について学ぶ)						
			1、下描き(キャンバスや木炭で下描き)						
	10月	<small>審査不実施</small>	2、絵の具について(絵の具の材料の違いなどに触れ、油絵具の特徴を理解する)						
			3、下地塗り(揮発油で薄く溶き、発色を高め絵の具の食い付きを高める)						
	11月	/	4、本描き①(主観色、客観色を学びながら、色彩豊かな表現および自己を深く探求する表現を目指す)						
			6、本描き②						
	12月	<small>審査不実施</small>	7、本描き③						
8、本描き④									
12月	<small>審査不実施</small>	5、振り返り(自己の作品と他者作品を比較しつつ振り返る)							
(3学期)	1月	/	「さまざまな遊びができる遊具」のデザイン						
			(グループでの制作を通じて、インクルーシブデザインについて学ぶ)						
			1、導入およびグループ分け						
	2月	/	2、実在する遊具を調べ、それをもとにグループとしてのアイデアを出す						
			3、そのアイデアをもとに模型製作						
			4、プレゼンテーション資料の制作						
	3月	<small>審査不実施</small>	5、発表(各グループごとに発表をし、評価する)						
			6、振り返り						

科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4単位	学年	2年	コース	特別進学	必修	
教科書	MY WAY English Communication Ⅱ								
副教材・参考書	MY WAY English Communication Ⅱ ワークブックAdvanced、Target 1900、SDG'S英語長文、共通テストドリル英語リーディング・リスニング10minutes								
授業の到達目標	英語を聴いたり読んだりして、情報や考えを的確に理解し、学んだことを基にSpeaking, Writing, Listeningをベースとした活動を行う。授業でのアクティビティを通し、自己発信力を培う。								
授業内容 ・進め方	レッスンを通して聴いたり、読み進めることで、理解した内容を自分の言葉で英語で表現する活動を行う。関連する英文を多く読み、背景知識の理解や思考力を高め、語彙力強化も図る。ターゲット1900をベースとした語彙学習に積極的に取り組む。随時演習問題に取り組み、高度な英語力を身に付けさせる。								
観点別評価の方法	【知識・技能】文法・語彙・表現、ワークブック、定期考査(左記の設問事項)								
	【思考・判断・表現】Listening、Writing、Speaking、定期考査(左記の設問事項)								
	【主体的に学びに向かう態度】パフォーマンステスト、実力問題、定期考査(左記の設問事項)								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 4 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	Lesson 1 Dances Around the World						
			SDG'S Lesson 11 & 12						
			パフォーマンステスト①						
	5月	考査実施	Lesson 2 Katsura Sunshine - Making the World Laugh						
			Listening①						
			Lesson 3 Living with Nature - Takita Asuka's Journey						
	6月	/	Lesson 4 Sesame Street						
			SDG'S Lesson 13 & 14						
			Listening②						
	7月	考査実施							
	(2学期)	9月	/	Lesson 5 From Landmines to Herbs					
				SDG'S Lesson 15&16					
パフォーマンステスト②									
10月		考査実施	Lesson 6 Murals - The Power of Public Art						
			Listening③						
			Lesson 7 "Englishes" in the World						
11月		/	Lesson 8 Deepika Kurup - The Science Behind Clean Water						
			SDG'S Lesson 17						
			Listening④						
12月		考査実施							
(3学期)		1月	/	Lesson 9 The World's Poorest President					
				共通テスト対策問題①					
	パフォーマンステスト③								
	2月	/	Lesson 10 Living in an E - Society - The Pros and Cons						
			共通テスト対策問題②						
			Listening⑤						
	3月	考査実施							

科目名	論理・表現Ⅱ	単位数	2単位	学年	2年	コース	特別進学	必修	
教科書	新課程Vision Quest 論理・表現ⅡAce								
副教材・参考書	新課程Vision Quest 論理・表現ⅡAce WORKBOOK、POWER STAGE、Vision Quest 総合英語								
授業の到達目標	「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、Speaking(やりとり・発話)、Writing(書くこと)の3つの領域を中心とした学習活動を行う。自分の伝えたい考えや情報を、論理の構成や展開を工夫して話したり書くなど、相手に内容を伝えることまたお互いに伝え合うことが自由に行える能力を養う。								
授業内容・進め方	各レッスンの文法内容、機能表現の確認の後、各レッスンの題材に合わせた発話を中心のペアワーク、またはエッセイライティングを行う。単元テストを随時行い、確実な能力定着を図る。								
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査、単元テスト、ワークブック								
	【思考・判断・表現】定期テスト、POWER STAGE								
	【主体的に学びに向かう態度】定期考査、Essay Writing、パフォーマンステスト(Presentation, Discussion & Debate)								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =4:4:2を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	Lesson 1 Future Goals						
			Lesson 2 School Life						
			POWER STAGE① Essay Writing①						
	5月	/	Lesson 3 Sports						
			Lesson 4 Information Age						
			POWER STAGE② Essay Writing②						
	6月	/	Lesson 5 Environmental Issues						
			パフォーマンステスト① POWER STAGE③						
	7月	/							
	(2学期)	9月	/	Lesson 6 CulturesLesson					
				Lesson 7 Language Education					
				POWER STAGE④ Essay Writing③					
10月		/	Lesson 8 Society						
			Lesson 9 Wishes						
			POWER STAGE⑤ Essay Writing④						
11月		/	Lesson 10 Science and Technology						
			パフォーマンステスト② POWER STAGE⑥						
12月		/							
(3学期)		1月	/	Lesson 11 Health					
				POWER STAGE⑦ Essay Writing⑤					
		2月	/	Lesson12 Business					
	POWER STAGE⑧ Essay Writing⑥ パフォーマンステスト③								
	3月	/							

科目名	家庭基礎	単位数	2単位	学年	2年	コース	特別進学	必修
教科書	実教出版 家庭基礎 気づく力築く未来							
副教材・参考書	生活学Navi資料+成分表2024 ビジュアルクッキング							
授業の到達目標	家族・福祉・衣食住・消費生活・資産形成などについて主体的・協働的な学びを通じて、知識・技能の習得と生活の充実・向上を図る力と実践的な態度を身につける。現在の生活課題の解決と将来を見通した生活設計を行い、自立への道筋を考えられるようになる。							
授業内容・進め方	家庭・消費生活・住生活・食文化・栄養素・保育・衣生活などの学習について、必要に応じて実習・グループワークを行いながら、プリントを用いて学習を行う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査、パフォーマンス等により評価する							
	【思考・判断・表現】定期考査、レポート、課題等により評価する							
	【主体的に学びに向かう態度】授業や考査の振り返り、行動観察、授業態度、提出物等により評価する							
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝4：3：3を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	1章「これからの人生について考えてみよう」					
			2章「自分らしい生き方と家族」 自立と共生、家族と法律					
	5月	考査不実施	9章「消費行動を考える」 消費行動と意思決定、現状と課題、権利と責任、ライフスタイルと環境					
			10章「経済的に自立する」 家計と経済の関わり、ライフプランニング					
	6月	/	8章「住生活をつくる」 住まいを計画する					
	7月	考査実施						
(2学期)	9月	/	6章「食生活をつくる」 私たちの食生活、栄養と食品の関わり、食品の選び方と安全、これからの食生活 調理実習①					
	10月	考査不実施	7章「衣生活をつくる」 衣服素材の種類と特徴、衣服の手入れ					
	11月	/	4章「高齢者とかかわる」 高齢社会の現状と課題、支えるしくみ					
12月	考査実施							
(3学期)	1月	/	3章「子どもとかかわる」 子どもの発達、子どもの生活、子どものための社会福祉					
	2月	/	5章「社会とかかわる」 共生社会を生きる					
3月	考査実施							

科目名	総合的な探究の時間	単位数	1単位	学年	2年	コース	特進文系	必修	
教科書	敬天愛人への歩み「天」「愛」のステージ								
副教材・参考書	エナジード Vol.3								
授業の到達目標	エナジード教材を通して、「他者視点」を持ちながら「自分で考え、動く力」を身につける。「天」のステージ『自己を律し、目標へ向かう』、「愛」のステージ『今生きている世の中を知る』。各市区町村の広報誌の分析とフィールドワークを通して、SDGsの視点から課題を発見し、課題解決案を提案する「InageImage II」を行い、下の学年にも発表をする。								
授業内容・進め方	グループで取り組み、他者とのかかわりや地域でのフィールドワークにより地域社会の課題を発見し、アクションを起こす。プレゼンにおいてはどうやったら思った通りに人に伝わるかを意識し進めていく。探究活動の楽しさを知り、卒業探究に取り組むための姿勢を形成する。								
観点別評価の方法	【知識・技能】								
	【思考・判断・表現】								
	【主体的に学びに向かう態度】								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = : : を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	11	オリエンテーション						
		18	【1】エナジードVol.3 Lesson 01 他者の感覚に気づく力						
		25	校外学習						
	5月	9	エナジードVol.3 Lesson 02 他者視点で発案する力						
		16	エナジードVol.3 Lesson 03 他者と共に実現する力						
		23	中間考査週						
		30	【2】Inage Image II ①グループ開き、概要説明、アイスブレイク						
	6月	6	②広報誌分析(地域の活動&魅力を探す) #1						
		13	③広報誌分析(地域の活動&魅力を探す) #2						
		20短	④フィールドワーク計画 #1						
		27	⑤フィールドワーク計画 #2						
	7月	4	期末考査週						
11短		⑥フォトジャーナリスト藤原亮司氏講演							
(2学期)	9月	5	敬学祭準備日						
		12	⑦夏休みフィールドワークの整理 #1						
		19	⑧夏休みフィールドワークの整理 #2						
		26	⑨フィールドワークの報告会						
	10月	3	【3】敬愛学園×		①敬愛学園×HAKUHODO #1				
		10	HAKUHODO		②敬愛学園×HAKUHODO #2				
		17	中間考査週						
		24	④敬愛学園×HAKUHODO #3						
		31	⑤敬愛学園×HAKUHODO #4						
	11月	7	⑥敬愛学園×HAKUHODO #5						
		14	⑦敬愛学園×HAKUHODO #6						
		21	⑧敬愛学園×HAKUHODO #7						
		28	期末考査						
	12月	5	修学旅行						
	(3学期)	1月	9	【2】Inage Image II ⑦成果物のまとめ(敬愛学園×HAKUHODO)					
16			入試業務日						
23			⑧成果物のまとめ(1学年へ発表会へ向けて)						
30			⑨2学年より1学年へ発表会						
2月		6	【5】卒業探究に向け ①説明、プレスト、マンダラート						
		13	②マンダラート、「読むべき本を探そう」						
		20	③探究テーマの設定 #1						
		27	①探究テーマの設定 #2						